

令和6年度 第1回 見附市まちづくり総合会議 議事概要

I. 開催日時 令和6年7月30日(火) 午後2時00分～午後3時30分

II. 開催場所 見附市役所4階 大会議室

III. 出席委員 渡邊 誠介委員、原山 義史委員、鈴木 英史委員、山谷 春喜委員、高木 信行委員、日山 健一委員、高野 直史委員、重信 元子委員、鈴木 孝子委員、倉重 圭介委員、遠藤 依里子委員、佐藤 宏子委員
(計12名)

IV. 会議の概要

1. 開会

2. 会議の成立

【事務局】

出欠報告委員の過半数が出席していることから、見附市まちづくり総合会議設置要綱第6条第2項の規定により会議が成立していることを報告する。

2. 市長挨拶

「まちづくり総合会議」は市政運営の方向性を示す最上位計画である「第5次見附市総合計画」をはじめ「第2期総合戦略」、加えて「デジタル田園都市国家構想交付金」関連事業の効果・検証について、市民の皆様および産・官・学・金それぞれの有識者の皆様のご意見をお聞きする会議であり、見附市の様々な会議の中でも、最上位の会議に位置付けられている。

本日は限られた時間の中、様々な視点や知見から積極的にご意見を頂戴したい。

3. 委員紹介

【事務局】

令和6年から委員の改選があり、新しい顔ぶれとなったため各委員から1名ずつ自己紹介。事務局から欠席委員を報告。

4. 会長、副会長の専任

【事務局】

会長は、見附市まちづくり総合会議設置要綱第5条第2項の規定により、委員の互選により選出することになっている。昨年度に引き続き、まちづくりについて専門的な見識をお持ちである、長岡造形大学教授の渡邊委員にお願いしたいと思う。

(拍手多数により承認。)

【事務局】

副会長については同要綱の規定により会長が指名することになっている。

【渡邊会長】

見附商工会副会長の原山委員を指名する。

5. 会長挨拶

まちづくり総合会議は市民や関係者が最上位計画をモニタリングしてアドバイスなどをする開かれた場である。見附市をより良い方向に導けるように、まずは情報共有をして現在の状況を理解していただきながら、それぞれの立場でポジティブなアドバイスをしていただければと思う。

6. 議事

(設置要綱第6条第1項に基づき、議事進行は渡邊会長へ)

(1) 見附市まちづくり総合会議について

【事務局】

(資料1) について説明

《質問なし》

(2) 第5次見附市総合計画（後期基本計画）・第2期見附市総合戦略の進捗状況・評価について

【事務局】

(資料2-1、2-2、参考資料) について説明

2年に一度見附市まちづくり市民アンケートを今年度実施する予定である。今回のアンケートは今後策定していく第6次総合計画の基礎資料となり得ることから、質問項目についての要望やその他アドバイス等あれば後日事務局まで報告してほしい。参考までに前回のアンケート用紙（追加資料「令和4年度見附市まちづくり市民アンケート」）を配布する。

【山谷委員】

資料2-1「見附市総合計画（後期基本計画）の進捗状況」について「達成」の項目数が0となっているがその理由を教えてほしい。

【事務局】

総合計画の目標値は計画終期の令和7年度時点で達成しているかを見るものである。現時点で目標値に達していても次年度数値が目標値を下回る可能性があるため現時点では「達成」という評価をしなかった。

【渡邊会長】

資料2-1「見附市総合戦略の達成状況」の方は「達成」と評価した項目が存在しているが、総合計画とは違う考え方で評価をしているということか。

【事務局】

総合戦略は年度ごとに設定された目標値を達成しているかどうかで評価している。

【渡邊会長】

資料2-2項目番号8「起業・創業件数」と、参考資料項目番号46「売れる商品づくり推進事業補助金採択件数」についてそれぞれどういう分野の案件があったのか。また、この2つの項目は関連性があるのか教えてほしい。

【事務局】

「起業・創業」について昨年度に関しては士業の方が多かった印象。また、鍼灸院の開業という案件もあった。「売れる商品づくり推進事業補助金」については元々お店をやっている方が新商品の開発や商品改善を行ったというケースが中心であったため、昨年度について関連性は低かったものと考えられる。

【山谷委員】

資料に沿った質問ではないが、空き家問題の現状について教えてほしい。

【事務局】

正確な数字は確認していないためお答えできないが、肌感覚として増えていると思う。市としても活用できる空き家については空き家バンクに登録して次の所有者を募集している。長期間放置されている特定空き家と呼ばれるものについては、周辺に被害が出る前に所有者の方に取り壊してもらおうなどの働きかけが必要と考える。

【佐藤委員】

消防団員の人数について昨年定員を600人から520人に引き下げたにもかかわらずまだまだ人員不足が続いている。自分たちでも勧誘はしているがなかなか増えない状況。市からも協力をお願いしたい。

【事務局】

先日、県の消防団ポンプ操法の大会で見附市が6位という良い成績を収めたと聞いた。こういったことを弾みにして団員の勧誘や活動の支援をしていきたい。

【重信委員】

参考資料項目番号49「商店街など中心市街地での出店数」に関連して新規出店の情報だけではなく、閉店の情報についても把握してほしい。

【事務局】

市で出店の支援をさせていただいた方が、コロナウイルスをはじめ様々な事情から数年で撤退してしまうケースがある。また、見附市で事業が成功した事業者が次のステップとして別の場所で新たに事業展開するケースもあると聞いている。

【鈴木(孝)委員】

資料2-2項目番号27「出生数の維持」に関連して子育て環境のソフト面の整備についてはどのような状況であるか。

【事務局】

令和5年度から企業に対して子育てしながら働きやすい職場づくりの支援を始めた。具体的には、働きやすく、子育てしやすい職場として「ハッピーパートナー企業 パパ・ママ子育て応援プラス」に新潟県より認定された企業に対して、市として応援するというソフト事業を始めた。こういった取り組みを続けていき、子育てしやすい環境を作っていけたら良いと考えている。

【重信委員】

資料2-2の項目番号22「コミュニティバスの利用者数」に関連して、小中学生の運賃を無料としたが、小中学生の乗車人数を教えてください

【事務局】

現在小中学生の乗車人数についてのデータを手元に用意していないためお答えできないが、担当課からは確実に増加したと聞いている。

【倉重委員】

参考資料の項目番号16「育てにくさを感じたときに対処できる親の割合」に関連して、ネウボラみつけでの支援や新たに始まった発達教室など障害を持つ子どもの早期発見や軽度の障がいを持つ子どもへの支援体制はある程度整ってきていることから今後この項目の数値は大幅に増えていくものと思う。ただ、重度の障がいをもつ子どもへの医療体制や支援体制はまだ十分ではないと感じる。

【渡邊会長】

倉重委員の仰る支援体制の充実や小児科や産婦人科などの医療体制の充実は子育て世代が住みたいと思う指標の一つであると思う。行政のできる事は限られているとは思いますができる範囲で支援をしてほしいと思う。

【事務局】

障がいのある子どもの早期発見の仕組みを充実させることは非常に重要で、適切なサービスの提供につなげていくことは大事なことであると思う。また、医療体制の整備も大切であると考えている。昨年春には見附市に小児科が開業した。市としても医院誘致にも努めていきたいと思う。

【鈴木(英)】

参考資料項目番号88「新規に歩行者と車が共存できる歩道拡幅された道路延長」について基準値100mで間違いはないか。

【事務局】

その通りである。毎年度少しずつ歩行者と車が共存できる歩道を整備していこうという指標である。

【鈴木(英)】

交通量の増加や、農作業用機械の大型化などで農免道路を通行する際に非常に危険であると感じている。こういった場所以外にも市内に危険箇所は多く存在するため、リストアップして随時道路の整備をしてほしい。

【事務局】

町内から要望のあった市内道路の危険箇所をリスト化している。財政事情もあることから歩車分離の整備をした際の通行量などを考慮しながら優先順位をつけて少しずつ整備している。

【鈴木（英）委員】

農免道路も対象になるか。

【事務局】

町内から要望として挙げればリスト掲載の対象とし、事業化を検討する。

【原山委員】

参考資料項目番号 45 「ニット組合の製造品出荷額」について数値はどういう手法で割り出されたものなのか。

【事務局】

市独自の統計調査ではなく県や国の経済センサスなどを参考にしていると考えられるが、担当課に確認する。

(3) デジタル田園都市国家構想交付金に係る事業の実施状況について

【事務局】

(資料3) について説明

【重信委員】

「MITSUKERU」に使われているデジタル技術とは何か。

【事務局】

公共 Wi-Fi を設置しており、テレワークできる場として市民に提供している。電車の待ち時間でデジタルの力を活用して作業ができるといった施設にもなっている。

【渡邊会長】

資料②に 15 自治体の広域連携事業と記載があるが、どの事業について連携をしているのか。記載している事業を見ると連携しているようには感じない。

【事務局】

確かに資料に記載している事業については見附市単独事業である。

ただ、県の事業で「チャレンジ新潟」という ICT 分野を含めた地域の様々な課題とそれの解決に向けて取り組む企業をマッチングさせる事業がある。県の予算でやっているため今回の資料には記載していないが、見附市を含めて様々な自治体が参加している。

【渡邊会長】

「MITSUKERU」の利用について夕方の時間帯は学校終わりの学生が多く利用していることと思うが、学生が授業中の昼間の利用状況はどのようなようであるか。

【事務局】

地域の交流の場としてまだまだなじまない部分もあるため、昼間の利用はそこまで多くはないと聞いている。しかし、現在地域おこし協力隊の隊員が学生だけではなく、幅広い世代の方に利用してもらうため、施設のにぎわいづくりに取り組んでいるところである。具体的には高齢者をターゲットとしたスマホ教室などを検討していると聞いている。

【重信委員】

介護や子育てをする際に参考になる動画や市の制度の周知動画などを作成して配信してほしいと思う。また、ファミリーサポートの提供会員のオンラインでの認定や動画視聴による講習会などの整備についても併せて検討してほしい。

【事務局】

介護や子育てに関しての参考動画の作成・配信については多くの市民から要望があれば今後担当課と検討していきたいと思う。オンラインでの資格取得や市の認定については課題もあるため慎重に考えていかなければならない。

【高野委員】

資料に記載のプロモーションムービーの作成について、去年はプレイラボがテーマだったが今後はニラなど別のテーマでムービーを作成していく予定はあるか。

【事務局】

今年度も作成を予定しており、現在担当部署でプロモーションムービーの内容について検討しているところ。要望などあれば担当部署に伝えたいと思う。

【高野委員】

東京みつけデー実施の支援とは何か。

【事務局】

「東京みつけデー」は首都圏で見附出身の方や見附とかかわりのある方が集まって見附を懐かしんでもらうことを目的としたイベントで、UI ターンのきっかけになればということで実施している。このイベントを実施のために支援をしているところである。

【遠藤委員】

学生が集まれる施設「MITSUKERU」が完成したが、高校生は行く手段にお金がかかってしまう。できれば高校生もコミュニティバスの運賃を無料にしてほしい。

【事務局】

こども課で発行をしている子育て応援カードの交付を受けている世帯の高校生に対してはコミュニティバスの運賃が半額になる「コミュニティバス専用カード」があるので、是非周りの高校生がいるご家庭の方へ教えてあげていただき、利用してほしいと思う。

【渡邊会長】

その他質問や意見があればお願いしたい。

《なし》

無いようなので、これにて各議事を終了とする。

(以降の進行は事務局による。)

7. 閉会

【事務局】

次回会議は、令和7年1月頃の開催を予定。開催日時が決まり次第、改めてお知らせする。

以上